

部屋が決まる!

ウィズコロナの

ラストアイテム

宅配ボックス

宅配ボックスは、コロナ禍により変化した新しい生活様式に対応するサービスの中で最も評価されている『宅配便の非対面受け取り化』を可能にする非対応・非接触需要に沿った設備として注目を浴びています。

近年では入居者の中で『あると便利な設備』から『ないと不便な設備』へと認識が変わりつつあり、時間の制限なく荷受けができるという利便性に加え、セキュリティにおいても宅配業者を装った押し込み強盗の事前防止など防犯面でも効果の大きい設備です。

<新築物件>
コロナ禍以降の
宅配ボックス設置率

87.6%



No.1

数字でCHECK

コロナ禍以降に竣工した物件のほとんどに宅配ボックスが設置されています。(築3年以内の物件:84.3%)また築20年以上の物件でも宅配ボックス設置率は増加傾向に。

2020年度
宅配物取扱量

111.9%



No.2

数字でCHECK

国土交通省による2020年の宅配個数は48億3,647個を記録し、過去最高を更新。コロナ禍で通販利用者が一気に増加したことが影響しているといわれています。

物販系 B to C
EC市場

121.7%



No.3

数字でCHECK

新型コロナウイルス蔓延に伴う巣ごもり消費の影響により、物販系 B to C - EC市場 (Amazon や楽天など)の規模は拡大し続けています。(9年連続増加中)

<賃貸物件>
コロナ禍以降の
欲しい設備

2位



No.4

数字でCHECK

コロナ禍以降に賃貸契約をし、1人暮らしをしている18~29歳の学生・社会人へインターネットによるアンケート調査を実施。社会人女性においては宅配ボックスが1位という結果に。

※at home 調査【UNDER30】参照

宅配ボックス付
物件検索数

2倍



No.5

数字でCHECK

2021年における賃貸物件の宅配ボックス設置率を算出し、2018年の調査結果と比較したところ、物件掲載数は増加傾向にあり、宅配ボックス物件検索数は約2倍に。

※SUUMO 調査参照

宅配ボックスの
必要設置個数

10%^増



No.6

数字でCHECK

世帯数に対する設置目安は20~30%と言われていたますが、コロナ禍以降、直接配達員から荷物を受け取らない利用者が増え、今までのボックス数では足りなくなってきた傾向が見られます。

1ボックスから導入可能

色々なサイズの荷物も受取可能

電気工事不要・電気代0円

低コスト・省スペース

重い荷物も大丈夫(耐荷重15kg)

屋外設置ができる防滴仕様



※設置イメージ

建物や入居者様に最適な宅配ボックスをコーディネートいたします